

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	<p>1st Quarter：ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービスマナー」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。</p> <p>2nd Quarter：1st Quarterに作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービスマナー： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等 ・短期（約2週間）留学： 渡航先の決定、渡航手続き、渡航先でのプレゼン準備、異文化理解、ホームシック対応
授業計画	<p>留学説明① 留学説明1（短期研修、3ヶ月留学） 2年生のプレゼンを聞く。</p> <p>留学説明② 留学説明2（NZ有給インターンシップ）外部講師 留学説明3（ワーキングホリデー）外部講師</p> <p>職業理解① エアライン業界の説明を受ける。 担当講師：EMIRATES航空（ドバイ）&全日空国際線 客室乗務員</p> <p>インターンシップ説明 インターンシップ説明（HTBインターンシップ説明、新規インターンシップ） 2年生のプレゼンを聞く。</p> <p>ギャップイヤー計画① 「ギャップイヤー計画表」（3ヶ月留学・インターンシップ・サービスマナー・短期海外研修）を作成する。 「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>ギャップイヤー計画② 「ギャップイヤー計画表」（3ヶ月留学・インターンシップ・サービスマナー・短期海外研修）を作成する。 履歴書の下書き作成を行う。</p> <p>ギャップイヤー計画③ 「ギャップイヤー計画表」（3ヶ月留学・インターンシップ・サービスマナー・短期海外研修）を作成する。 ギャップイヤー計画提出・評価システムの理解 「ギャップイヤー計画」を提出する。 評価システムの説明を受ける。 「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>2nd Quarterの目標 ギャップイヤーに臨む直前のタームとなる2nd Quarterの開始に伴い、 目標・することを明確化する。 「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>社会マナー理解 インターンシップ・就職活動用の適切なリクルートスーツに関する知識を学ぶ。</p> <p>留学説明③ 留学説明3（スイスホテルスクール）</p> <p>職業理解② 医療事務の説明を受ける。 担当講師：株式会社ニチイ学館 医療事務従事者 黒島フィールドワーク サービスマナーを理解し、実践する。</p> <p>留学説明④ オーストラリア留学と有給インターンシップについて説明を受ける。</p> <p>まとめ① ギャップイヤー活動の計画を発表し、決意表明を行う。 「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>まとめ② 「学修成果記録ノート」・「ギャップイヤー実施計画書」を作成し提出する。</p>

授業形態	講義
到達目標	①ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ②ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。 ③ギャップイヤーの活動の際のリスクについても正しく分析できる。 ④ギャップイヤーの活動計画を立てることができる。 ⑤ギャップイヤーの活動に関する評価システム（活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために）を理解し、運用できる。
評価方法	各自作成する「ギャップイヤーの計画表」の内容を評価します。
評価基準	「ギャップイヤー計画表作成（100%）」 *「ギャップイヤー計画表」作成は、「学修成果記録ノート」への記入となります。
教科書・参考書	特になし
履修条件	原則、「海外文化事情（留学）」「インターンシップ」「実践Awesome Sasebo!サービスラーニング」を履修する場合は本講義と「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨んでください。